

堤防詳細点検の実施について

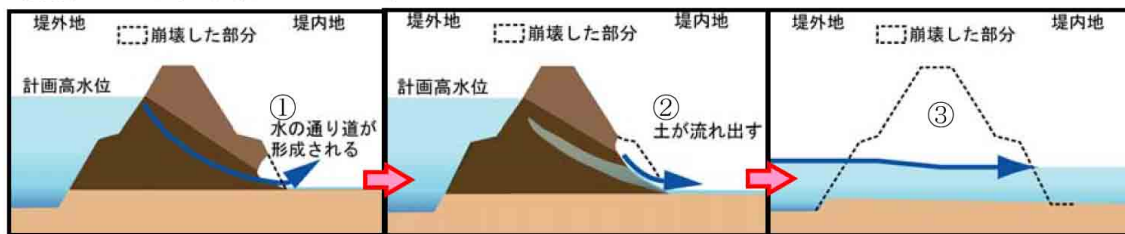
【堤防点検の趣旨】

河川堤防の構造は、主に実際に発生した被災等の経験に基づいて定められたもので、洪水による破壊過程を解析して設計されてきたものではありません。

一方、治水対策の進捗に伴い、氾濫原における人口や資産の集積には著しいものがあり、堤防の安全性の確保がますます必要となってきました。

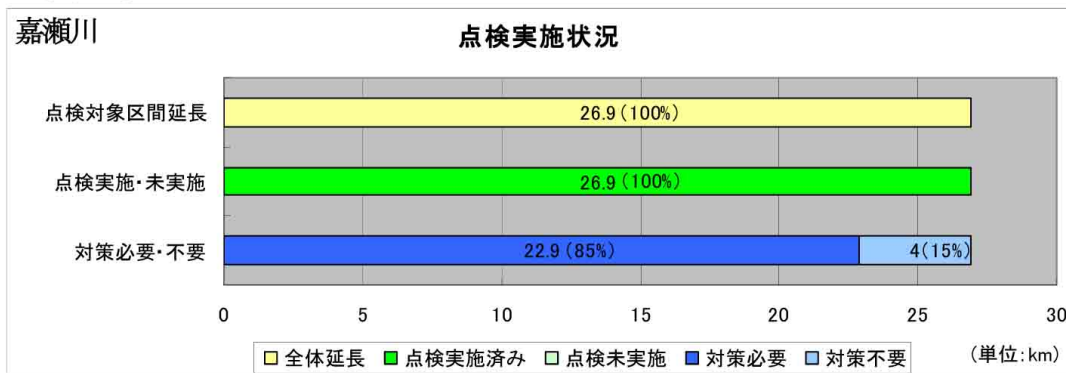
このため、計画高水位（堤防計画上の最高水位）時における耐浸透機能に対する堤防の安全性について詳細点検を実施しているところです。

○浸透による堤防破壊のイメージ図



河川の水位が高い状態が長時間続くと、堤防内の水位も上昇し、堤防の中に水の通り道が形成①されます。この水の通り道が、徐々に拡大すると、水とともに堤防の土が流れ出し②、堤防が崩れる③こととなります。

【詳細点検状況】



嘉瀬川堤防詳細点検結果情報図



点検が必要な区間	26.9km
■ 浸透に対して安全性照査基準未滿の区間	22.9km
■ 浸透に対して安全性照査基準以上の区間	4.0km
■ 詳細点検未実施区間	0km